

三溪だより

～心かがやき ともにのびる 三溪っ子～
めざせ あいさついっぱい えがおいっぱい 楽しい三溪小学校



三溪小学校キャラクター
サブローイックさん

発行：令和6年2月26日

皆様からの多大なるご支援に深謝申し上げます

校長 宮武 紀子

本年度最後の「三溪だより」となりました。先日は学習参観と学級懇談会を実施致しましたが、大勢の保護者の皆様にご参加いただきましたことに心より感謝申し上げます。また、当日は、能登半島地震災害支援募金にもご協力くださり、重ねて御礼申し上げます。児童会運営委員の子どもたちの思いを教員が後押しする形で実現した募金活動でしたが、子どもたちや保護者の皆様のご協力をいただき、総額114,945円もの義援金が寄せられました。早速、日本赤十字社香川県支部に贈らせていただきましたが、大地震の被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りするばかりです。

さて、先日ご協力いただきました「学校教育評価に係る保護者アンケート」の結果がまとまりました。この結果をまとめたプリントを「三溪だより」と併せて、本日お子様が持ち帰っております。本年度は、学校における教育活動に加えて、ご家庭での子育てに関わる内容についてもお答えいただく形を取らせていただきました。結果をまとめたプリントにも記述しておりますが、学習面や思い合う心の涵養という面において、ご家庭における教育力の高さが窺えました。

学習面では、「楽しく分かりやすい授業になるように心掛けている」の項目が、「当てはまる」「概ね当てはまる」を併せて9割という高評価をいただきました。さらに「家庭で宿題以外の学習に取り組ませている」の項目についても7割のご家庭から肯定的な回答が寄せられたことから、保護者の皆様が復習等に力を入れてくださっている様子が窺えました。学校の授業だけでは、なかなか定着は難しいものがあります。ご家庭で、復習や反復練習にご協力いただけていることを非常に有難く思いました。

また、本年度取り組んできた「心の交流事業」に関する内容では、「家庭では命を大切にする心や態度を大切にしている」「家庭では人のためになることを行う態度を大切にしている」といった人権意識や思い合う心の涵養の面において、ほぼ全てのご家庭から肯定的な回答をいただきました。児童対象のアンケートにおいても、「誰に対しても思いやりの心をもって温かく接している」の項目が9割超えという結果には、ご家庭での心の育みが大きく関わっていることを実感した次第です。

お子様の健やかな成長には、学校と家庭の両輪による育みが肝要です。今後も学校と家庭が共に手を携え、お子様の学力向上や心の成長をめざしていけますことを切に願っております。本年度の保護者の皆様の温かいご支援、ご協力に心より深く感謝申し上げますとともに、次年度も継続した連携を祈念申し上げ、最終号のご挨拶と致します。一年間、有難うございました。



なかやしグループの仲間全員が作成した「卒業生への感謝メッセージ」